

功績概要

【芸術文化分野】 紀平 昌伸 映画看板職人

氏は、昭和 30 年に 15 才で手描き映画看板職人に弟子入りして以来、これまでに多くの映画作品の看板を制作してきた。最盛期には、2 日に 1 枚、週に 6 枚以上のペースで大型映画看板を描いた。現在は屋外広告業（看板屋）の傍ら、映画祭などのイベントを中心に 84 歳になる今も現役で映画看板を描き続け、その活躍は県内だけにはとどまらず、作品点数は 4,000 点にのぼる。

時代の変化と共に映画看板もその表現手法は「手描き」から「プロジェクションマッピング」等に変化したものの、看板と集客の関係性は不変であり、当業界の先人が築いた制作文化伝承の一助を担うため、映画看板を通して屋外広告業の認知度向上と手描き文化を継承する活動に取り組んでいる。

具体的には、市内の小学校での似顔絵教室の開催や地域公民館活動のデッサン講座の講師を務めるなど、観光協会や商店街の地域活性化のために作品を提供し、映画看板の作品展示や講演会等、子供から大人まで幅広い年代を対象に活動している。

また、三重県屋外広告美術協同組合の理事、一般社団法人三重県技能士会の理事、三重県職業能力開発協会の技能検定委員などを長きにわたって務め、後進の育成・指導に尽力してきた。

氏のこうした活動や功績は極めて優れたものであり、本県の文化の向上に大きく貢献している。

【文化財分野】 東海道関宿まちなみ保存会

「東海道関宿まちなみ保存会」は、昭和 55 年に発足し、今なお東海道 47 番目の宿場の町並みが良好に残されている関宿を後世に誇りを持って守り伝えるとともに、地域住民に対してその積極的活用によって個性豊かな文化の薫り高い町づくりに広く寄与している。

以後、関宿における伝統的建造物群の保存及び継承活動として、月例学習会の開催、毎年関宿夏まつりの参加者への案内ボランティアや街道祭りへの協力、その他にも関宿まちなみ音楽祭の開催などの自主的活動を多年にわたり継続することで文化財保護に寄与している。

この活動は、関宿の町並みをただ保存するのではなく、毎日の生活の場としてその歴史文化や生活環境を包括して保全し、そこでの生活者にとって「終の棲家」として誇りと潤いのある生活空間の形成を図っており、活動を通じて潤いあるふるさとづくり、ひいては文化財の後世への継承にも繋がっている。

現在では、県内を代表する歴史的景観とその取組の実績において、全国的に高い評価を受けている。

当団体のこうした活動や功績は、極めて優れたものであり、本県の文化の向上に大きく貢献している。